

“日本一のボランティア先進県”～最少の人数で最大の社会貢献

財団事業費：約8億円
県事業費：約5億円

○中山間地域の生活支援 ～住み慣れた地域での生活を守る～

- 事業者が撤退し生活に必要なサービスが不足する中山間地域に対し、地域のニーズに沿った持続可能な生活支援サービスを構築する。
- 地域での生活支援モデルづくりを支援・促進し、具体的な支援モデルを構築する。

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活、医療、福祉の複合的生活支援サービスの仕組み作り ■ 先行実施する、岩美町、江府町、日南町の3地域での地域生活支援モデルの構築に対する支援（各地域の実状を踏まえた生活支援モデルに必要な拠点や車両、サービス提供、システム導入に係る経費の支援） ⇒ 順次、各市町村へ拡大 ■ 日本財団が有する成功事例などこれまでの知見の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生活支援サービスの計画づくりへの支援 ■ 小さな拠点運営や担い手育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーコンパクトビレッジ（小さな拠点プラス）促進支援事業（41,500千円） ・みんなで支え合う中山間地域づくり総合支援事業（38,170千円） ・中山間地域買い物福祉サービス支援事業（10,850千円）

○住民参加型の健康づくり ～健康寿命日本一～

- 県、市町村、地域住民、日本財団等の連携による全県的な健康づくりの意識や取組を定着する。
- 住民参加型のスポーツイベントの開催や運動プログラムへの参加促進により、地域住民の健康寿命を引き上げる。

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 運動習慣を身に付けるため、日本財団の関連団体が有する施設の活用や指導者派遣など人的支援 ■ 財団関連団体が持つ健康づくりのためのノウハウの提供 ■ 認知症予防に向けた大学との共同研究に対するモデル的な支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 健康相談や生涯スポーツの普及促進、定期的な運動習慣化に向けた市町村の取組支援 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで取り組む「まちの保健室」事業（12,570千円） ・ココカラげんき鳥取県推進事業（10,382千円） ・グラウンド・ゴルフ国際大会開催等事業（4,000千円） ・鳥取県高齢者健康運動会開催事業（5,242千円）

○難病の子どもと家族の地域生活支援 ～福祉・医療・教育の連携～

- 難病の子どもと地域生活と、それを支える家族への支援体制を構築し、病院からのスムーズな移行と地域での生活を実現する。
- 在宅支援体制モデルの構築に向け、将来的な拠点整備も念頭に人材育成と在宅支援モデルをつくる。

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 在宅支援体制を支える人材育成支援 ■ 大学と連携した寄附講座、研修会、県外視察・研修等に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 医療ケアが必要な子どもの地域生活のニーズ把握、生活支援モデルづくりの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（9,173千円） ・NICUからの地域移行支援事業（3,902千円） ・重度障がい児者医療型ショートステイ整備事業（43,706千円）

○障がい者スポーツの拠点

- 健常者と障がい者が一体となったスポーツ推進により、布勢総合運動公園を中心とした障がい者スポーツの先進地を目指す。
- バリアフリー改修、パラ陸上開催等を契機に障がい者スポーツの拠点化に連携して取り組む。

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 布勢総合運動公園陸上競技場の手話対応等多目的掲示装置の改修 ■ 障がい者スポーツ拠点の中核施設設置に向けた、施設整備の調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 布勢総合運動公園のバリアフリー改修の推進、障がい者スポーツ拠点の認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・布勢総合運動公園機能向上推進事業（29,500千円） ・あいサポスポーツ日本パラ陸上鳥取大会応援事業（10,690千円）

○地域交通のモデルづくり ～タクシーのユニバーサルデザイン化～

- 県内のタクシー200台をユニバーサルデザイン化(UD化)し、誰もが移動しやすい新たな公共交通のモデルを構築する。
- UDタクシー導入を契機とした誰もが移動しやすい地域交通の利用環境づくりを進める

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ UDタクシー約100台の導入支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ UDタクシーの利用促進に向けた認知度向上、ドライバー研修、タクシー乗り場のバリアフリー化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインタクシー導入推進事業(1,300千円) ・ユニバーサル社会の実現に向けたバリアフリー化推進事業(4,000千円) ・人権啓発教育事業(人権啓発広報事業)(7,240千円) ・とっとりユニバーサルデザイン推進事業(3,000千円)

○働く障がい者を増やす ～工賃3倍から産業の担い手づくり～

- 工賃3倍増達成を通じて、活力を持って暮らせる福祉的就労環境の改善を実現する。
- 障がい者の一般就労において、地域産業を担う就業者数1,000人以上の創出を実現する。

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 工賃向上に繋がる共同作業場の整備・充実支援(県中、西部等) ■ 財団の持つ知見の提供による工賃向上につながる事業所の業務改善支援 ■ 若年就職困難者就業支援モデルの構築支援 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 商品開発・販路開拓支援、ジョブコーチなど人的支援、障がい者を雇用する企業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・工賃向上環境強化事業(29,347千円) ・農福連携推進事業(8,439千円) ・障がい者就業定着強化事業(36,668千円) ・障がい者就業支援事業(40,920千円) <p style="text-align: right;">等</p>

○将来の担い手・リーダーの育成 ～人材育成プログラム～

- 国内外の先進事例視察、セミナー開催等を通じ、地域の将来を担う人材の育成を行う(5年間で約1,000名)

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 国内外の先進地視察、セミナー等の研修プログラムの提供 ■ 研修経費の支援 研修受講者 200人/年 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 財団との共同プロジェクト等の推進に向けた人材育成プログラムの検討、関係者との調整

○優れた民間活動を支援 ～民間活動助成プログラム～

- 民間の地域づくりの取組への支援を通じて、地域における民間活動の活性化を図る
- NPOや地域おこし協力隊をはじめ、地域の担い手の新たなチャレンジや事業拡張を支援(5年間で約100プロジェクト)

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 中長年にわたって継続的な効果や発展が見込まれる事業を中心に「人材育成」「資金調達の仕事づくり」「組織マネジメント」等につきモデル的に支援を実施(10～20件/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 民間主体のプロジェクトチームによるプログラムの実施、とっとり県民活動活性化センターの支援などにより、県民が主体となった地域づくり活動の裾野拡大を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・トトリズム推進事業(66,675千円)

○県の魅力発信 ～県の魅力の再発見・価値の創造～

- 県外からの視点でネット媒体やリアルイベントを組み合わせ鳥取県の魅力発信・価値の創造を行い、移住定住の増加等へ繋げる

日本財団	鳥取県
<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本財団が有する人的ネットワークや財団の発信力を活かした、共同プロジェクトの取組内容、鳥取県が持つ資源(観光地、食等)等の県外での発信 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鳥取県が魅力ある県として国内外へ知られるための情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルメディア等を活用した情報発信促進事業(3,877千円) ・とっとり情報発信費(66,223千円)